光明寺だより

第７２号
平成２５年7月発行
眞言宗　光明寺
宇都宮市野沢町３４２
TEL　665－0545
FAX　665－5422

智山勤行式（No.３）

三歸禮文（続き）

自ら仏に帰依し奉る。
当に願わくは衆生と共に、大道を体解して無上意を発さん。
自ら法に帰依し奉る。
当に願わくは衆生と共に、深く経蔵に入りて、智慧海の如くならん。
自ら僧に帰依し奉る。
当に願わくは衆生と共に、大衆を統理して、一切無礙ならん。

口語訳

『みずから仏に帰依いたします。人びとが大いなる仏道を体得し、無上の悟りに向かうこころをおこしますように。
みずから法に帰依いたします。人びとが深く経典を学んで、海のような大いなる智慧を得られますように。
みずから仏教徒の集い（僧）に帰依いたします。人びとが和合のつどいをもち、なにものにも妨げられない自由な境地を得られますように。』

仏教には三つの重要な宝があります。それは仏・法・僧という三宝です。飛鳥時代の聖徳太子こと厩戸王が役人に対して守るべき規則を記した『十七条憲法』にも取り入れられています。

一に曰く、和を以て貴しとなし、逆らうことなきを宗とせよ。（後略）
二に曰く、篤く三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり。（三以降省略）

「ぼけ封じ関東三十三観音霊場」（第一回）

仏教という教えを成立させる条件として、

① 悟りを得て解脱した結果、涅槃の境地を体現した仏陀（お釈迦様など）
② 仏陀となるためには覚りへの道しるべとして、教えを記した経典つまり法
③ 仏道を実際に実践する行者および仏道を継承する者としての僧侶

右記の①が「仏」、②が「法」、③が「僧」にあたり、これら三つのすべてがそろっていなければ仏教とはなり得ず、今日まで伝承されることはなかったでしょう。
また①を「先祖」、②を「先祖の教え」、③を「今を生きる我々」とすると、先祖がつないでくれた命、数々の先祖の知恵、それらがなければ、今を生きる我々は存在しなかったでしょう。

※智山勤行式は、真言宗智山派が檀信徒向けに作ったお経です。興味ある方はお寺にお声掛けください。

光明寺四季の諷詠（No.42）

このごろ　十四首　　恵華

○カルミヤの　花のさかりの　み寺の庭に
　十日早しの　梅雨の雨ふる

○九十年　はるかな年と　思いしも
　昨日のごとく　思うこのごろ

○一の姉　百才二の姉　九十五才
　次々逝きて　九十のわれ一人

○戦死せる　吾子を思える　母の歌
　ビルマの鐘に　刻みおきたり

○参道の　ビルマの鐘を　打ちならす
　幼なにおくる　おまもりの鈴

○天辺を　好みし鳥の　姿なし
　安じてあおぐ　梅雨空ひくし

○八重櫻　散りしく参道　あゆみゆく
　み寺まいりの　人々のかげ

○一の日は　み墓まいりの　日ときめし
　人の姿の　みえぬこのごろ

○脳腫瘍　痛みしときて　かなしかり
　明るい人の　姿たちくる

○縁ありて　あづみのの花　芍薬の
　届きていける　み仏の前

○ご詠歌を　こよなく愛した　人逝きぬ
　九十一才の　齢い終りて

○ぼけ封じ　観音様に　おねがいの
　一首をささげ　心安らぐ

○願わくは　生涯現役　健やかに
　大往生を　祈る朝夕

○ぼけ封じ　観音霊場　巡礼の
　旅のはじまる　五月十日よ

大般若のご案内（少々先になりますが）

十一月八日（金）
午前十時から余興
「今回は、若い歌い手さんをお招きする予定です」
午前十時半から大般若法要
午前十一時半終了予定
大般若は御祈祷です。檀信徒の皆様の家内安全、交通安全、所願成就を御祈念致します。是非、皆様方の申し込みお待ちしております。
同封の黄色の用紙にてお申し込みください。
護持会費等と一緒に郵便振替も可
（大般若に○をしてください）
志納金二千円
（木札とお守り授与）です。

平成24年度光明寺護持会収支報告書

2012/04/01 から 2013/03/31

単位　円

科目	収入	支出
繰越金	1,212,309	
会費	4,539,000	
営繕費		930,497
教化費		471,720
宗派課金		488,770
諸会費		219,000
通信印刷費		309,311
分担金		74,800
保険料		606,370
計	5,751,309	3,100,468

残金2,650,841円は次年度に繰り越します。

※現金にて出納しました。
※右記残金相違なく保管しております。　2,650,841円
※確認書類（出納簿　領収書綴り）。

上記の通りご報告致します。　平成25年6月15日

護持会会長　藤村　眞琴　㊞
会計　半田　正博　㊞
会計　藤村　真行　㊞

上記決算書を監査したところ、諸帳簿、決算書証ひょう書類等符合し違算ないことを証します。

平成25年6月25日

会計監査　岩上　清　㊞
片山　泰男　㊞

第一回ぼけ封じ関東三十三観音霊場

七回にわたってお参りした「関東八十八ヵ所霊場」巡りも、成満（じょうまん）し、参加した皆さんから「継続して続けましょう」と、ありがたい言葉を頂戴しましたので、五月十四日（火）日帰りで「ぼけ封じ関東三十三観音霊場」（第一回）を行ないました。

総勢二十名にて、朝七時三十分出発、県北から県南までの八ヶ寺をお参りし、夕刻5時少し過ぎに到着。当日は真夏日となり、大変暑く、日陰を求めながらの巡礼となり、水分をこまめに取りながら、全員無事に光明寺着、各寺院様のご接待に感謝。県内の「ぼけ封じ観音霊場」には、幼稚園、保育園を営むお寺さんもあり、拝んでいる時に、たくさんの園児とお話しする機会を得、私が幼稚園に行っている時（五十五年前?）を思い出しました。最近の幼稚園も国際化の傾向でしょうか、一見して外国の子と思われる園児も楽しそうに遊んでいました。園児のパワーをたくさん頂いてきた一日でもありました。

第二回は一泊にて群馬埼玉東京方面、第三回は茨城千葉方面を予定しています。

住職記

当山施餓鬼会のご案内

檀信徒の皆様には日頃光明寺護持にご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、**恒例の施餓鬼会を八月五日（月曜日）午前十時より勤修いたします（毎年八月五日に実施）**

午前十時より御詠歌（二十分）

午前十時二十分より布教（四十分）

午前十一時より施餓鬼会（六十分）

◎山門のところで世話人さまが、リーフレット粗品等を配布いたします。（一家にひとつのセットです）

◎施餓鬼の塔婆は原則全檀家様（施主名で）を対象にお書き致します。

◎塔婆は法要の後、世話人さまが本堂にてお配り致します。世話人様の名前がわかる様にして下さい。寺扱い（郵便振替）の方はお寺の執事がお配り致します。

◎当日お越しになれない方は後日、本堂にお入りになり、お名前を確認し、パンフレットを頂いて下さい。※他家のお塔婆もありますので丁寧にお取り扱い下さい。

◎施餓鬼塔婆は原則、盆中仏壇脇に安置し送り盆にお墓に持っていきます。

◎檀信徒の皆様、ご家族様、特に初盆の方は、是非お越し下さい。

※お願い　境内にお墓のある方、お盆の供物等は各家庭での処理をお願いします。

棚経のご案内

八月十三日（火）～八月十五日（木）

午前九時から新盆のお檀家様を中心に、お伺いいたします。

※お願い（十三日午前にお伺いする地区の皆様は前日の夕方、または当日早朝に仏様のお迎えをお願いします）

十三日午前　野沢、宝木本町（藤岡）、上金井、下金井、徳次郎（富屋地区）

十三日午後　宝木本町（悟理道、仁良塚）、新里、大谷立岩地区

十四日午前　駒生、鶴田、細谷、若草、上戸祭

十四日午後　宝木、中戸祭、戸祭、豊郷地区

十五日　市内中心部南部東部、宇都宮市外郭部（河内、岡本等）、市外

※時間の指定はご遠慮下さい。

※やむをえない事情で変更になる事もあります。

「しばらく待っているがまだ来ない」などご心配の折りには、遠慮なくお電話下さい。

六六五―〇五四五　光明寺

編集後記

◎宇都宮仏教会の依頼で、「日本心臓ペースメーカー友の会栃木県支部」総会で仏教のお話をさせていただきました。お釈迦様の御詠歌。釈迦牟尼如来誕生和讃、釈迦牟尼如来成道和讃、釈迦牟尼如来涅槃和讃の三曲を唱え、お釈迦様の生涯を解説し、参加の皆様の生きる力にしていただきました。（先代住職も終末ペースメーカーにお世話になりました）

◎本年二月十七日副住職「真行」と「千絵子」が結婚いたしました。私共光明寺の寺族となったご報告をさせていただきます。今後、住職共々ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

◎毎年夏休みに出流山満願寺（栃木市）で「お坊さんと一緒」を栃木智山青年会の皆様が開催しています。小学生のお子様ならどなたでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしております。（先ずはお寺に電話をお願いします）

住職記